

## 夢 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 を持つことの大切さを学ぶ

7月3日（水） 古川西小学校

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」が古川西小学校で開かれ、同校の5年生児童56人が授業を受けました。

夢教室では、アイスホッケー選手の菊池沙都さんが「夢先生」を務めました。

授業では、体育館で児童たちと一緒にゲームなどを行い、みんなで一緒に協力することや力を合わせるこの大切さを学びました。

教室では、夢先生の夢トークが行われ、現役時代の思いや目標に向かって努力することの大切さ、あきらめずにやり遂げるこの大切さなど自身の実体験を交えながら話をしました。



授業に参加した古川西小学校の児童ら

## ハイパーカミオカンデ着工に向け支援を

7月2日（火） 神岡振興事務所

東京大学宇宙線研究所が神岡町に建設予定の次世代ニュートリノ観測装置「ハイパーカミオカンデ」の早期着工に向け地元団体等で支援する「ハイパーカミオカンデ計画推進期成同盟」の発足式が、神岡振興事務所で開催され参加団体等の関係者ら9人が出席しました。

同盟には、商工会議所、金融協会、観光協会など9団体と市が参加。国などへの陳情、広報活動や調査など行います。

発足式で都竹市長は「プロジェクトを地元として後押しを行い、連携して支援をしていきたい」とあいさつしました。



同盟に参加した各団体の代表

## 今 大阪桐蔭高等学校吹奏楽部飛騨市特別公演 年も素晴らしい演奏を披露

7月5日（金）、6日（土） 飛騨市文化交流センター

大阪桐蔭高校吹奏楽部による飛騨市での特別公演が飛騨市文化交流センターで開かれ、市民ら述べ2,000人がその迫力ある演奏に聞き入りました。

公演では、部員約180人がミュージカルマーチングステージ「ノートルダムの鐘」や「スターウォーズ」などの曲を披露し華やかなダンスに合わせて演奏されました。

また、リクエストステージでは、「吹奏楽の歩み」を映像で紹介しながら演奏したり、リクエストコーナーでは、観客からのリクエストにバットでボールを打って、キャッチした観客に楽曲を決めてもらったりし、最後には「君の名は。」メドレーや「銀河鉄道999」などが演奏されました。



演奏を披露する大阪桐蔭高等学校吹奏楽部の皆さん

## 外 外国人技能実習生等支援員を任命 外国人が安心して働ける環境をつくる

7月3日（水） 市長室

市では、外国人が安心して生活し、働ける環境を整えるため、市内で働く外国人実習生等の生活相談などに応じる支援員制度を新設し、ベトナム出身のグエン・テイ・トウイ・アンさんを支援員に任命しました。

都竹市長は「安心して働ける市であることをアピールし、飛騨市を選んでもらえるようになってほしいです」と期待を語りました。

グエンさんは「外国人にも企業にも役に立てるように頑張りたいです」と意気込みを語りました。

今後、グエンさんは支援員として外国人実習生の仕事や生活での不安の解消や企業側の相談にも応じます。



支援員に任命されたグエンさん（左）

## 地 ジオスペースアドベンチャー (GSA) 2019 下1,000メートルで体験ツアー

7月13日 (土) 神岡鉱山

ジオスペースアドベンチャー(GSA)2019が行われ、全国から訪れた約800人の参加者が地下1,000メートルの探検ツアーを楽しみました。

GSAは、神岡鉱山の本物の坑道と宇宙物理学最先端の実験施設を活用して行う探検ツアーです。

参加者はバスに乗って坑内に入り、スーパーカミオカンデの実験エリアや鉱石の採掘で実際に使われていた大型重機などを見学しました。

スーパーカミオカンデでは、若手研究者によるサイエンスセミナーも行われ、素粒子ニュートリノの性質などを分かりやすく説明しました。



ニュートリノの性質などを説明する若手研究者

## 親 枝元なほみさんと農業体験&ランチ座談会 子で農業と季節の食材を楽しむ

7月7日 (日) 古川町畦畑 畦畑公民館

飛騨みんなの博覧会夏のプログラム「自然栽培の枝豆をみんなで植えよう!飛騨の恵みを食べよう!」が開かれ、市内外から35人の親子らが参加しました。

プログラムでは、古川町畦畑地区で野菜を育てている「ソヤ畦畑」の森本悠己さん、「エダモン」の愛称で活躍する料理研究家の枝元なほみさん、岐阜県出身の料理家・フォトグラファーminokamoの長尾明子さんが案内人となり、森本さんが大切に育ててきた自然栽培の「青大豆」の苗を植えたのち、枝元さんと長尾さんが調理した、季節の食材を使ったランチをおいしくいただきました。



枝元さんと苗を植える児童

## ス 広葉樹のまちづくりセミナー スイス・フォレスターから森林づくりを学ぶ

7月18日 (木)、19日 (金) 古川町高野地内

飛騨市広葉樹のまちづくりセミナー「スイス・フォレスター研修」が、古川町高野の民有林で行われ、県内外の林業関係者ら30人が参加しました。

この研修は、市が取り組む広葉樹のまちづくりの推進を目的に毎年開催しています。

研修では、スイス・チューリッヒ州バウマ村で20年以上活動しているフォレスターのロルフ・シュトリッカーさんが講師となり、将来に向けた価値の高い森林づくりについて、実際に森の中を歩きながら具体的な選木などを分かりやすく参加者に説明しました。



選木について説明するロルフさん

## 手 吉城高校の生徒が飛騨吉城特別学校を訪問 作りのゲームで児童と交流

7月17日 (水) 飛騨吉城特別支援学校

吉城高校の生徒5人が飛騨吉城特別支援学校を訪問し、同校の児童2人とゲームで交流しました。

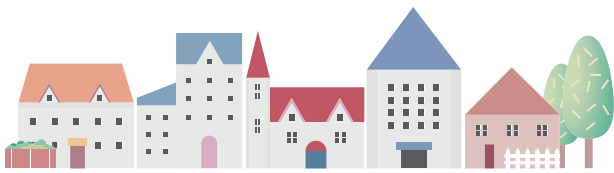
この日は、生徒が児童に喜んでもらえるように工夫して作ったパズルやボウリングゲームで児童と遊びました。

生徒らは、児童の手を握って優しく声を掛けたり目線を合わせたりしながら楽しく交流し、終始笑顔の絶えない会となりました。

参加した生徒は「児童の皆さんの手の握り方や表情で気持ちが伝わってきました。一緒に楽しく遊んでくれて嬉しかったです」と話してくれました。



ゲームで楽しく交流する児童、生徒ら



## 3 常蓮寺 太子踊り 300年以上続く伝統の踊りを楽しむ

7月24日(水) 吉田 常蓮寺

神岡町吉田の常蓮寺で伝統の太子踊りが行われ、住民らが境内で踊りを楽しみました。

太子踊りは、常蓮寺に安置されている聖徳太子像の奉還を祝った、300年以上の歴史がある踊りで、県の重要無形民俗文化財に指定されています。

参加者は、境内中央のやぐらで太子ばやしが始まると、三味線や太鼓のおはやしに合わせて、両手を高く上げ、大きな輪を作り伝統の踊りを楽しみました。また、常蓮寺に秘仏として安置されている聖徳太子像の御開帳やバザーも行われ、多くの参加者でにぎわいました。



輪になって踊りを楽しむ参加者

## さ アプリを利用した情報発信に関する協定式 さるばばコインアプリで危機管理情報を発信

7月19日(木) 市役所

市と飛騨信用組合との間で、電子地域通貨「さるばばコインアプリ」を活用した情報発信に関する協定が、市役所で開かれました。

この協定は、市内で災害等が発生した場合に、電子地域通貨のさるばばコインアプリのプッシュ型情報配信機能を使用して、災害情報、交通情報やクマ出没情報などをアプリの利用者へ発信します。

協定式では、同組合の黒木正人理事長と都竹市長が出席し、それぞれ調印を行った後、協定書を取り交わしました。



協定書を手にする黒木理事長(右)

## 災 国・市・自治会が路上被災者支援協定を締結 害時の路上孤立を支援

7月29日(月) 神岡町 谷中山公民館

高山国道事務所、市と谷・中山区長との間で、災害時における路上被災者支援に関する協定が、神岡町の谷中山公民館で開かれました。

この協定は、災害等により国道41号が通行止めになった場合、一時的に移動が困難なドライバー等の「路上被災者」への支援を行うもので、市からは備蓄食糧の提供を行い、国からは事故に備えたボランティア保険費用をサポート、地元自治体では人道的支援を行います。

協定式では、同地区の中島雄一区長、同整備局高山国道事務所の竹島大祐所長、都竹市長が出席し、それぞれ調印を行った後、協定書を取り交わしました。



備蓄食糧を手にする中島区長(中央)と竹島所長(左)

## チ 第23回飛騨みやがわ「E」ボート大会 チームで力を合わせタイムを競う

7月28日(日) 宮川町林 関西電力打保ダム湖

第23回飛騨みやがわ「E」ボート大会が、宮川町林の関西電力打保ダム湖で開かれ、飛騨市と高山市から9チーム96人が出場しました。

Eボートは、ダム湖を利用して地域を盛り上げようと、同町の住民が中心となり毎年大会を開催しています。

大会では1チーム10人で、船首に座った音頭取りの太鼓や笛に合わせてオールをこぎ、往復300メートルのコースでタイムを競いました。

上位の成績は、1位に「新航海(中央振興会)」、2位に「沙悟浄(飛騨市消防本部)」となりました。



太鼓や笛の音頭に合わせオールをこぐ参加者